

## FP Topics = NISA制度の注意点 = 2022年8月号

### = One's impressions =

お盆の時期も過ぎ、朝晩は若干過ごしやすく感じるのではないのでしょうか。しかし、まだまだ暑い日が続きそうです。しっかり水分補給を心掛け、乗り切っていきましょう。コロナ禍も収まる気配を見せません、十分注意して過ごさなければいけませんね。だからといって、経済活動に制限を設けることは得策ではないように思います。難しいところですね。

#### NISA口座は一人一口座

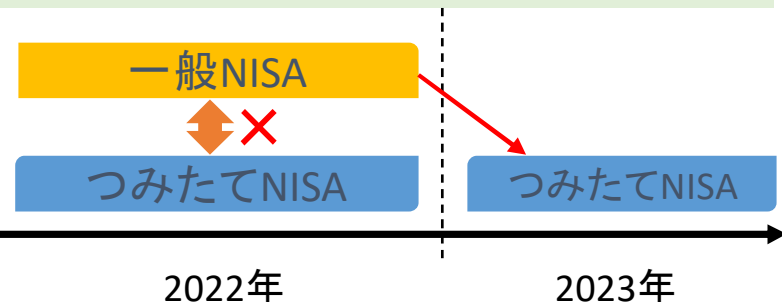
NISA口座は、一人につき一口座しか開設することができません。複数の口座申請をした場合については、申請（非課税適用確認書）が受理された順番で開設されます。



一人につき一口座しか開設することができません。ですが、ご夫婦でそれぞれ開設した場合、つみたてNISA制度では800万円×2人=1,600万円まで、非課税での資産運用が可能となります。

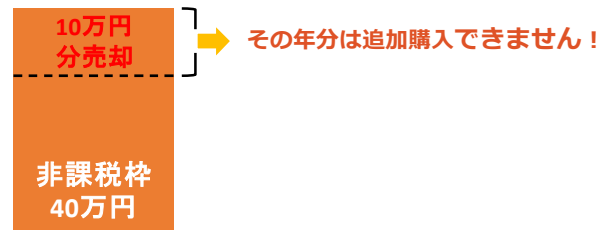
#### 同年内は区分変更できません

NISA口座を利用した年内は、一般NISAとつみたてNISAの区分を変更することができません。



#### 非課税枠は再利用できない

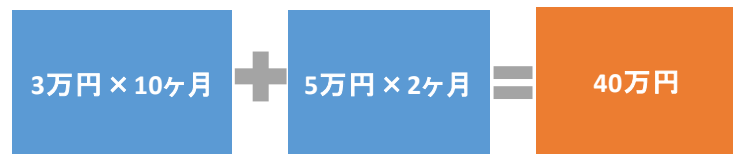
毎年の非課税枠40万円は、運用している金融商品（投資信託等）を売却した場合についても、新たな金融商品（投資信託等）を追加して購入することはできません。



#### 非課税枠を使いきれない場合がある

口座開設する金融機関によっては、非課税枠を最大に使いきることができない場合があります。たとえば、毎月の上限設定金額が33,000円の場合、年額で396,000円となり、4,000円分の非課税枠を使いきることができません。

4,000円分ですから、些細な金額と思われがちですが、20年分の複利効果を考えるとばかになりません。この場合、ボーナス月を設定して非課税枠を使いきることをお勧めします。



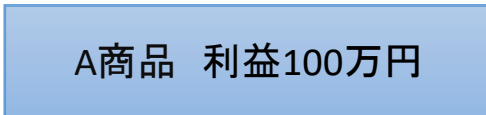
## NISA口座は課税口座と損益通算できません

NISA口座で損失が出た場合については、課税口座で得た他の黒字の所得と相殺できません。

＝課税口座内での損益通算＝



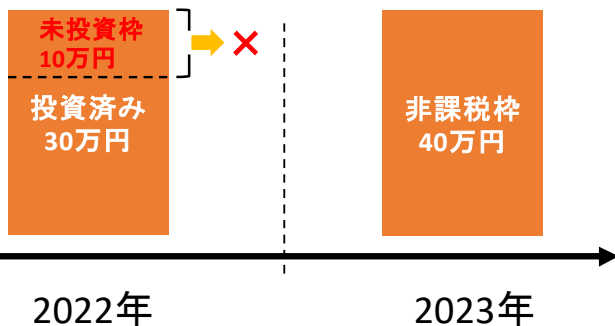
＝NISA口座と課税口座との損益通算は不可＝



課税口座内で得た、A商品の利益100万円と同じく課税口座内でのB商品損失50万円は損益通算（相殺）することができます。よって所得金額は50万円となります。しかし、NISA口座と課税口座との損益通算は不可とされており、NISA口座内での損失はなかったものとみなされます。よって所得金額は100万円となります。

## 非課税枠は翌年に繰越すことができない

毎年の非課税枠40万円は必ず使い切る必要はありません。しかし、使わなかった非課税部分を翌年に繰り越すことはできません。



## ～今月の山便り～

早朝の清々しい空気の山道を、なにかしらウキウキした気持ちで歩き出しました。明るい場所で落ち着いて地図を確認したところ、ビバーク地点は危険地帯をちょうど抜けたあたりのようです。降りしきる雨のなか、つるべ落としに日が暮れ、踏み跡を見失った場所が靡き（祈りの場所）でした。やはり何かに導かれたのかもしれませんが。

この山域には、笙の窟（第62番靡）があります。この行場の雪中参籠は、平安時代から峯中でもっとも厳しい修業が行われたことが伝えられています。1,500メートルほどの標高があり、冬季はかなりの積雪がある山域です。もう少し下界に近い標高1,300メートルほどの場所にスキー場（和佐又スキー場）があるのです。私がビバークした地点は標高約1,600メートルの地点でした。寒いはずですが・・・

危険地帯を脱し気楽に歩いていると、緊張しない分今度は荷物の重さが気になり始めます。通常、軽くて柔らかいものをザックの下部（腰にあたる部分）に詰め込み、比較的重いものを上部に配分します。左右のバランスも考えて、腰で重さを分散させる感じなのですが、現状は全ての装備がびしょびしょで全てが重いのです。

おまけに体もびしょ濡れ状態。歩き出してもそう簡単に乾いた感じにはならないのです。踏み跡程度の山道を辿っていることから、下草の朝露で足元もびしょ濡れです・・・はあ～、ウキウキした気分が少し萎えてくると、今度は喉の渇きに気が付きました。昨日のビバーク時からほとんど水を口にしていないような気がします。多分そうです。気になり始めると猛烈に喉が渇いてくるのです。

適当な場所でザックを下ろし、水を飲みますが残り500ccくらいしかありません。大峯奥駈道は雨が多い割に水があまり採れません。奥駈走破成功の鍵は、水の確保が大変重要になってきます。そんなあたりまえの基本的な事も抜けていて、本当にどうかしていたのかもしれませんが。水場はこの先”行者還ノ宿”までありつけそうもないのです。少なくともあと3時間くらいはかかりそうです。

一度喉の渇きを感じると、あ～水～水～となります。不思議にお腹が空いていた記憶がないのは不思議です。容赦ないアップダウンを繰り返し、行者還ノ宿を目指してひたすら歩きます。